



ホームページ

学校通信第12号

鬼中だより

平成27年9月15日（火）

藤岡市立鬼石中学校

発行 佐藤 裕彦

0274-52-2750

創立当時の記念樹を守る作業が始まります！

創立30周年を迎えた本校は老朽化した校舎の改修工事中です。玄関前の記念樹も写真のように巨木となりましたが、洞(うろ)が拡大し、倒れる危険が出てきました。

そこで、PTA本部の方々と相談し、樹木医や造園業者の方々に、記念樹の延命処置をしていただくことにしました。

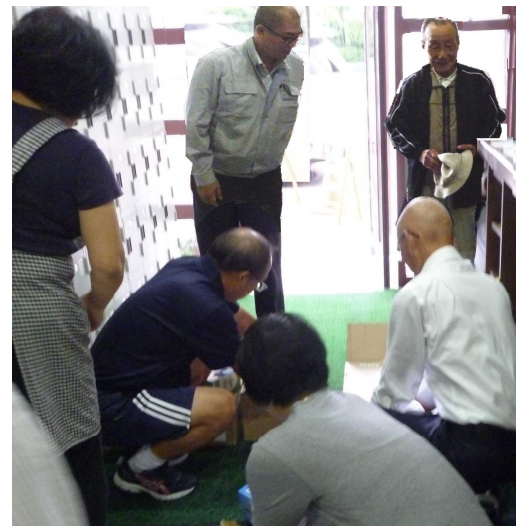


予定では、
・洞の広がりを押さえる処置
・枝の剪定
・補強用の杭設置等を行うことになりそうです。
これで、記念樹も、これからずっと本校の生徒の活躍を静かに見守ることができると思います。

高瀬さんより本の寄贈がありました！ 9/8

藤岡市在住の高瀬さんより、今年もたくさんの書籍を寄贈していただきました。高瀬さんは「藤岡市の小中学生のために」と、平成6年より毎年各小中学校に書籍を寄贈してくださっています。

当日、高瀬さんは、吉田元校長先生と来校してください、写真の書籍(104冊)を寄贈してくださいました。ちょうど、勤務日に当たっていた新井司書さんも受領に参加後、早速バーコード添付作業を行い、貸出できるようにしてくださいました。書籍は、「高瀬文庫」コーナーに展示してあります。



高瀬文庫

製造業の現場を体験して感じたこと ～ チャレンジウィーク ～



物作りに興味があったので、株式会社サカエにお世話になりました。部品を一日中作る作業を行う社員の人たちは、どうしたら早くできるかを工夫していました。小さな部品をしっかりと組み込まなければ、不具合が出て検査で不合格となること、自分が作った医療機器の組み立て部品がそのまま次の工場に送られることを説明していただき、その責任を感じながら作業しました。細かな部品の差し込みでは指が痛くなりましたがなんとか完成させた時や部品の周りについて小さなゴミまで見分けられてほめられた時は、働く喜びを感じました。

最初はただ組み立てているだけで楽しかったのですが、最後は人のためになる物を作っていることへの責任感や喜びも感じるようになりました。

上毛新聞社主催「シルクカントリーぐんま作文コンクール」入賞！ 9/11



富岡製糸場世界遺産登録記念の作文コンクールに本校2年生2名が入賞しました。

ご存じのように、鬼石地区の「養蚕」は盛んに行われていた時期もありますが、すでに記憶の中の産業となっています。

このコンクールは養蚕との出会いを作文にするのが条件ですから、入賞した2人を含む10名が市内の養蚕農家を訪問して勉強した上で、応募しました。

矢場の養蚕農家（飯島進さん）のご協力を得て、素晴らしい成果を上げることができました。ありがとうございました。

これで雨の日も教室に入れます！ 9/9



台風18号の接近に伴う大雨の中、1年生の生徒が教室に入れないという大きな問題が見つかりました。

本校は、現在校舎改修中ですので、生徒は非常階段から教室に入ります。最上部は屋根に当たるものがないので、雨の日は傘をさして教室に向かいます。したがって、風を伴う雨の日は傘での移動は危険です。

その実情を知った田畑建設の作業員の方々が、台風の大雨の中で写真のような仮の屋根をかけてくださいました。

お陰様で、生徒は雨でも傘をささずに教室に入れるようになりました。